

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ニチリョク  
 コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 寺村 久義  
 (氏名) 矢田 欣也

TEL 03-3396-3052

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,048	10.9	94	350.2	84	562.8	45	—
21年3月期第1四半期	945	—	20	—	12	—	3	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	3.35	—
21年3月期第1四半期	0.25	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	10,769	3,896	36.2	290.20
21年3月期	10,855	3,943	36.3	292.73

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 3,896百万円 21年3月期 3,943百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	7.50	7.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期累計期間	2,300	0.1	270	7.6	230	3.5	125	6.6	9.27
通期	4,900	2.1	770	7.5	680	2.5	320	18.9	23.75

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	13,741,014株	21年3月期	13,741,014株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	315,666株	21年3月期	268,666株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	13,470,370株	21年3月期第1四半期	13,727,348株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、昨年来の国際金融危機の深刻化を背景に、引き続き景況感の悪化等による個人消費が低調に推移しており、景気の先行きにはなお予断を許せない状況にあります。当社の属する供養産業におきましても、死亡者が年々著しく増加しているにもかかわらず業者間格差が広がりつつあります。特に景気の後退と年金問題等で高齢者の将来不安は払拭されず、購買意欲は依然低調であります。これに伴う同業他社との競争激化による顧客単価の下落という厳しい状況下、当社はビジネスモデルのチェンジ、即ち屋外墓地の霊園事業から、供養の全てをパックした堂内陵墓事業への展開を図るとともに、愛彩花倶楽部会員獲得に積極的に取組み、葬儀見込み顧客の囲い込みを進めた結果、当社は売上、利益とも前年同期に比べ増加いたしました。当社業績の季節的特徴といたしましては、主力の霊園事業において、春秋のお彼岸時期に合わせての建立を前提とした墓石工事の受注が集中する傾向にあるため、売上計上は第1四半期、第3四半期は少なく、第2四半期、第4四半期に集中する特徴があります。

以上の結果、当第1四半期会計期間における業績は、売上高10億4千8百万円（前年同期比1億2百万円増）、営業利益9千4百万円（前年同期比7千3百万円増）、経常利益8千4百万円（前年同期比7千2百万円増）、四半期純利益4千5百万円（前年同期比4千1百万円増）となりました。

#### 各事業の状況

##### <霊園事業>

従来式の屋外墓地につきましては、景気後退による影響で、比較的高価格となる屋外墓地の買い控え及び小規模傾向が続く環境下、売上高は4億4千7百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

##### <堂内陵墓事業>

堂内陵墓第三号「関内陵苑（横浜市中区）」の販売手数料収入は、景況感の悪化にもかかわらず、引き続き顧客からの好反響・支持を受けており、当初の計画を上回る販売数で推移しております。また、堂内陵墓第四号「覚王山陵苑（名古屋市中区）」が昨年3月に完成し、順調な販売実績を上げております。売上高は3億3千6百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

##### <葬祭事業>

愛彩花倶楽部会員数の順調な増加により、葬儀施行件数（149件、前年同期比23.1%増）が順調に伸びたことに加え、現代の住環境に適した家具調モダン仏壇仏具専門店「愛彩花ギャラリー」の売上も貢献し、葬儀の地味化傾向からの施行単価の下落を補い、売上高は2億6千4百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の変動状況

当第1四半期会計期間末における財政状況につきましては、流動資産は前事業年度に比して1億5千6百万円増加し、44億9千8百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金1億4千3百万円及び未成工事支出金8千5百万円の増加、売掛金6千6百万円の減少によるものです。

固定資産は2億4千2百万円減少し、62億7千1百万円となりました。その主な要因は、霊園開発協力金1億6千4百万円及び長期貸付金7千8百万円の減少によるものです。

流動負債は2億8千3百万円増加し、40億7千2百万円となりました。その主な要因は、短期借入金3億1千8百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金5千9百万円の減少によるものです。

固定負債は3億2千1百万円減少し、28億1百万円となりました。その主な要因は、長期借入金3億3千6百万円の減少によるものです。

純資産は4千7百万円減少し、38億9千6百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金5千5百万円の減少によるものです。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、主に営業収入及び貸付金の回収がありましたが、一方では借入金の返済もあり、前事業年度末に比して、1億5千6百万円増加し、当第1四半期会計期間末は13億3千5百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれら要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における営業活動の結果、得られた資金は2億8千7百万円（前年同期は1億1千4百万円の使用）となりました。これは、主として営業収入（4億5千1百万円）と法人税等の支出（1億4千5百万円）に

よるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における投資活動の結果、得られた資金は5千1百万円（前年同期は2億7千9百万円の獲得）となりました。これは、主として貸付金の回収による収入によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における財務活動の結果、使用した資金は1億8千3百万円（前年同期は3億6千6百万円の使用）となりました。これは、主として借入金の返済（7千6百万円）及び配当金（7千8百万円）の支出によるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の業績は、「経営成績に関する定性的情報」に記載のとおり、ほぼ当初予測のとおり推移しておりますので、現時点において、平成21年5月15日発表の「平成21年3月期決算短信（非連結）」で公表しました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はございません。

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 当第1四半期会計期間末における棚卸高に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。
2. 法人税等の納付税額の算定に当たっては、加味する加減算項目を重要なものに限定しております。繰延税金資産の回収可能性の判断にあたっては、前事業年度末以降、経営環境に著しい変化はなく、かつ一時差異の発生状況に大幅な変化がないため、前事業年度末において使用した将来の業績予測及びタックスプランニングを使用して行っております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,900,072	1,756,676
完成工事未収入金	58,958	94,551
売掛金	161,120	227,300
永代使用权	1,521,184	1,488,284
未成工事支出金	497,894	412,254
原材料及び貯蔵品	88,397	74,108
その他	271,343	289,312
貸倒引当金	△46	△61
流動資産合計	4,498,926	4,342,426
固定資産		
有形固定資産	1,333,178	1,344,052
無形固定資産	352,113	374,836
投資その他の資産		
長期貸付金	1,199,474	1,277,689
霊園開発協力金	1,520,046	1,684,389
その他	2,130,285	2,096,588
貸倒引当金	△264,048	△264,303
投資その他の資産合計	4,585,757	4,794,363
固定資産合計	6,271,049	6,513,252
資産合計	10,769,975	10,855,678
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	60,251	50,948
短期借入金	842,010	523,600
1年内返済予定の長期借入金	2,054,938	2,114,190
1年内償還予定の社債	86,000	106,000
未払法人税等	23,767	150,479
賞与引当金	19,200	49,000
役員賞与引当金	3,560	18,000
その他	982,329	776,754
流動負債合計	4,072,056	3,788,973
固定負債		
社債	101,000	101,000
長期借入金	2,387,307	2,723,430
退職給付引当金	178,987	167,987
役員退職慰労引当金	101,730	97,716
その他	32,834	32,834
固定負債合計	2,801,859	3,122,968

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債合計	6,873,915	6,911,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,805,247	1,861,204
自己株式	△54,027	△45,896
株主資本合計	4,016,145	4,080,232
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△99,582	△116,168
繰延ヘッジ損益	△20,502	△20,326
評価・換算差額等合計	△120,085	△136,495
純資産合計	3,896,060	3,943,737
負債純資産合計	10,769,975	10,855,678

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	945,652	1,048,347
売上原価	322,938	357,687
売上総利益	622,714	690,659
販売費及び一般管理費	601,798	596,492
営業利益	20,916	94,166
営業外収益		
受取利息	13,187	10,353
保険解約返戻金	9,446	—
受取配当金	6,169	5,644
その他	4,000	8,524
営業外収益合計	32,803	24,522
営業外費用		
支払利息	36,416	33,332
その他	4,493	450
営業外費用合計	40,910	33,783
経常利益	12,809	84,905
特別損失		
固定資産売却損	—	117
特別損失合計	—	117
税引前四半期純利益	12,809	84,788
法人税、住民税及び事業税	1,948	22,399
法人税等調整額	7,412	17,303
法人税等合計	9,360	39,702
四半期純利益	3,448	45,086

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	1,202,894	1,303,802
原材料又は商品の仕入れによる支出	△244,210	△260,674
人件費の支出	△321,091	△315,556
その他の営業支出	△493,250	△275,932
小計	144,342	451,638
利息及び配当金の受取額	20,000	15,937
利息の支払額	△37,614	△34,520
法人税等の支払額	△241,254	△145,227
営業活動によるキャッシュ・フロー	△114,525	287,827
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,175	△19,213
定期預金の払戻による収入	236,000	34,000
有形固定資産の取得による支出	△26,072	△13,040
無形固定資産の取得による支出	△23,043	△1,249
貸付けによる支出	—	△14,000
貸付金の回収による収入	133,159	91,800
霊園開発協力金の支出	△35,401	△29,344
差入保証金の差入による支出	△16,169	△13,050
差入保証金の回収による収入	18,647	14,601
その他	1,677	1,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	279,622	51,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	450,000	620,000
短期借入金の返済による支出	△392,630	△301,590
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△464,411	△595,375
社債の償還による支出	△170,000	△20,000
自己株式の取得による支出	—	△8,216
配当金の支払額	△88,990	△78,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	△366,032	△183,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	134	49
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△200,800	156,183
現金及び現金同等物の期首残高	1,189,158	1,178,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	988,358	1,335,157



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。